

# 魔法のワンドプロジェクト

自分に合った手立てにより  
再発見できた「頑張れる自分」

多摩市立多摩永山中学校

西島明佳

平成26年7月25日

# プロジェクト参加の経緯



# プロジェクト参加の経緯

- 今年度異動で  
多摩永山中学校へ



- 当初は情緒障害等通級指導学級を予定
- 特別支援教育コーディネーターとして  
通常の学級の生徒を対象に研究

# 対象生徒 A くんについて



# Aくんについて

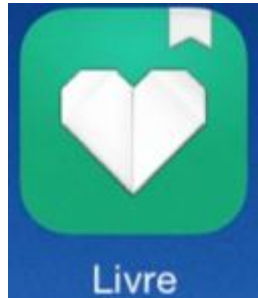


- 通常の学級の中学2年生男子
- 手先が不器用で書字が苦手
- 物事や感情を言葉で説明することが難しい
- 通常の学級の授業内容の理解は困難  
→ 自発的に読み・書きに取り組む様子は見られない
- 中2の6月から安定登校が難しくなる

# 研究のねらい



# 実践研究のねらい



日記アプリで  
日常の出来事や思いを表現

自分の考えを整理  
して出力する**経験**

思いを書くこ  
とができると  
いう**見通し**

書ける自分  
への**自信**

今後は自分の気持  
ちや考えを他者に  
伝えられるように  
なってほしい

# アセスメント

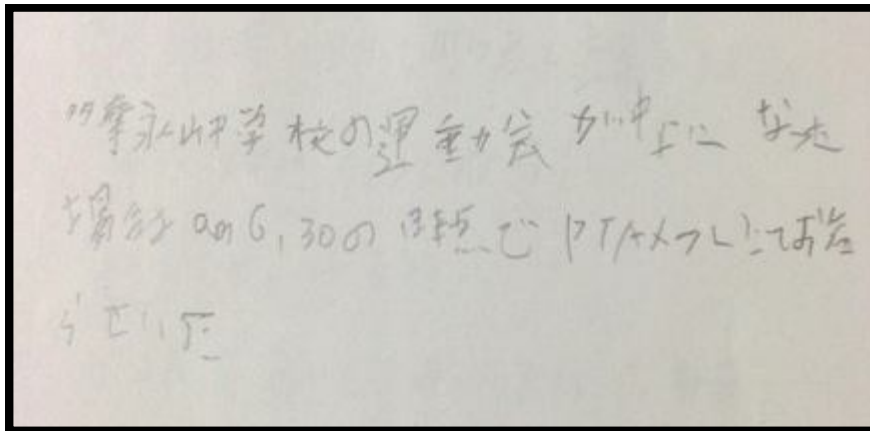




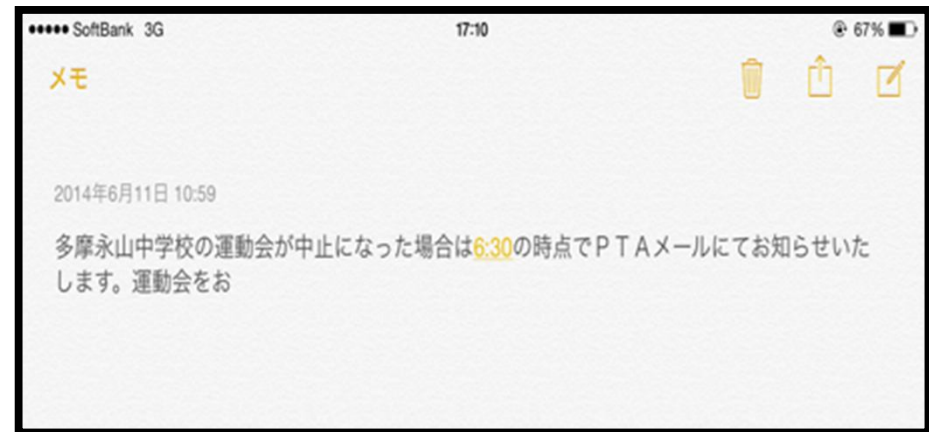
# ①手書きとiPad入力の比較

○文字入力の方法で文字数に変化が生じるか

- ・ 1分間の手書きとiPad入力  
(ローマ字入力、かな入力)
- ・ プリント文章の視写、自由記述文



手書き (45文字)



iPad入力 (52文字)



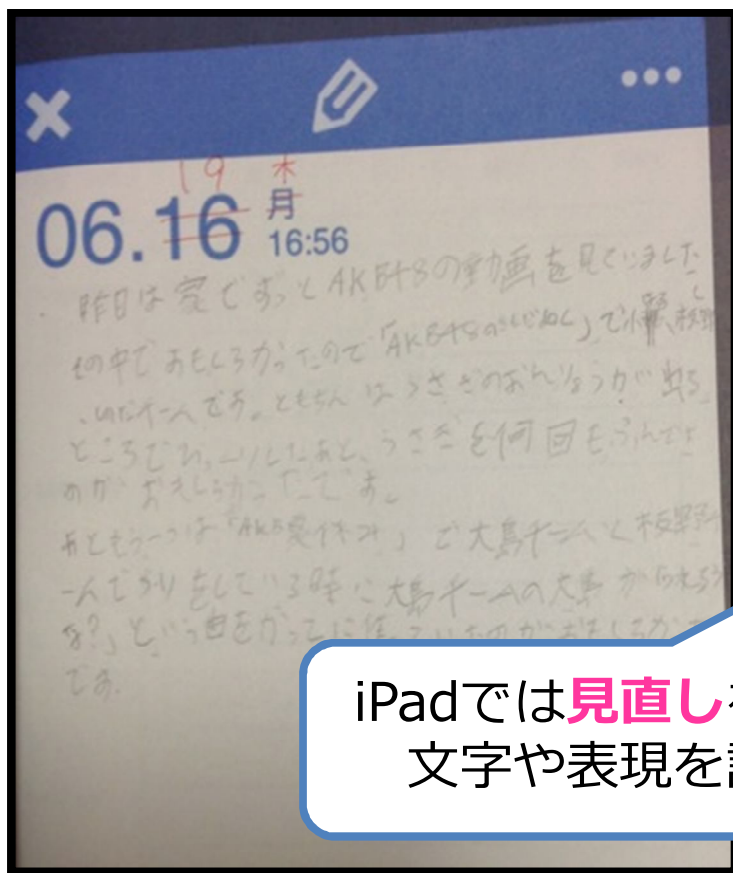
手書きでは漢字  
を写す時に  
ペースダウン

ローマ字入力  
のやり方が  
わからない

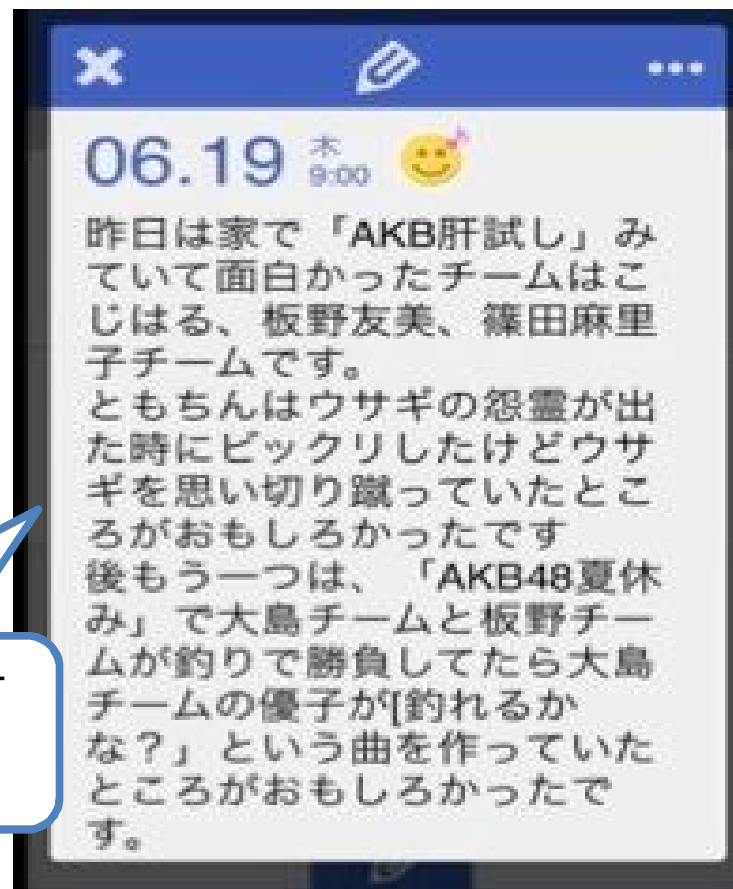
家ではiPodで  
フリック入力を  
していると判明



# ○日記記入の際の手書きとiPad入力の違い



iPadでは見直しをして  
文字や表現を訂正

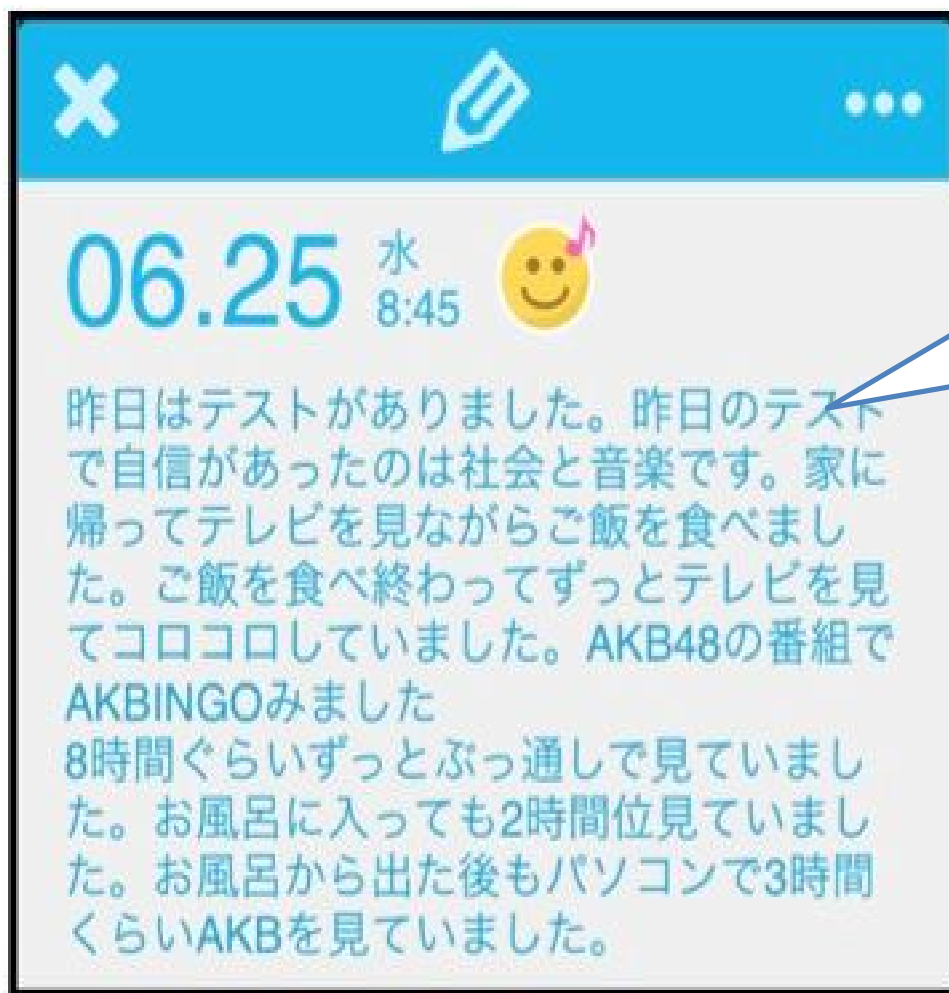


手書き：  
漢字 27 文字 / 185 文字

iPad：  
漢字 40 文字 / 168 文字

## ②音声入力の有効性

### ○音声入力で日記を書く



音声入力前に口に出してリハーサルするので入力時間が2倍に

「音声入力の時、言ったのと違う文が出てきたのでイラッとしてしまった。」

アセスメント  
①②より

# A くんに適した 文字入力方法

- 「手書き」よりも「iPad入力」の方がスムーズかつ速く文を書ける。
- 「音声入力」は時間とストレスがかかるので A くんには不向きである。
- 「iPad入力」は文字の予測機能があり、文章作成の補助となる。

**iPadの文字入力**で A くん**の書くことの**  
**困難さを軽減**させられるのではないかと

# 実践の内容



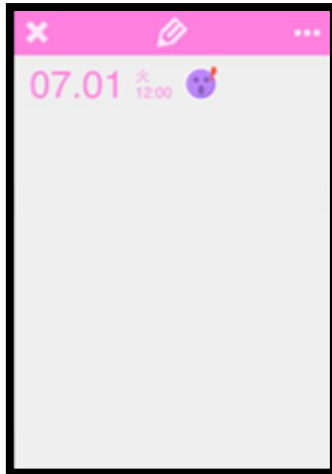
# 実施者

- 特別支援教育コーディネーター
- ピアティーチャー（教員免許を持った学習支援員）
- 担任

A さんの登校状態に合わせて  
別室学習指導の時間割を組む

# 内容

① 日記をiPadで入力



② 見直す



③ 仕上げる



④ ふりかえりシートにまとめる

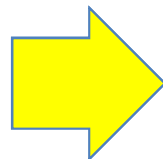
A reflection sheet template titled 'ピアティーチャー学習の記録' (Record of Peer Teacher Learning). It has a table with columns for 'HH-PC2', 'H', 'H', 'QH', and 'LSCM'. Below the table are sections for '本日のPC' (Today's PC), '5分間の振り返り' (5-minute reflection), 'ポイント' (Points), and '感想' (Comments).

HH-PC2	H	H	QH	LSCM
本日のPC				
5分間の振り返り				
ポイント				
感想				



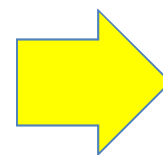
# ① 日記をiPadで入力

漢字が浮かばない



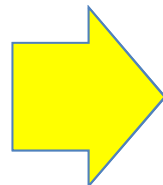
予測変換で漢字を選択

書字に時間がかかる



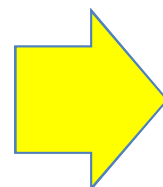
フリック入力でスムーズに入力

書字困難で読み直すのが難しい



テキスト文なので推敲する意欲がもてる

書字の負担感が大きい



書いた文字を残したまま  
文字を加えられる

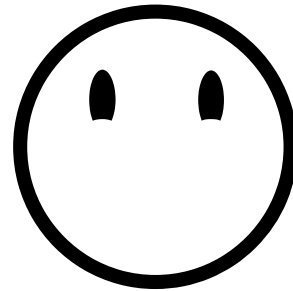
書くことの困難さを軽減できた

## ② 日記を見直す

ひらがなを  
漢字に直す

表情カード

上達カード



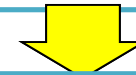
表現を直し  
たいところ  
を書き直す

文を付け加  
える

# 表情カード



日記に気持ちを書くことが難しい



表現できる「感情」の種類が  
少ないのかもしれない



表情カードを導入

表情の読み取りはスムーズだが  
「その気持ちになるのはどんな時？」  
ときいてもすぐに答えられない

# ○表情カードを用いて感想を書き加える

07.09 水 8:40 🎵😊

昨日はAKBの番組で「マジスカ学園」を家で三つ見ました。後は家で寝ていました。後最終回まで見ました。

「その時どう思ったのか考えたことが難しかった。」

## 表情カード導入

「とても面白かったです。」

「とても満足です。」

が加わる

07.09 水 8:40 🎵😊

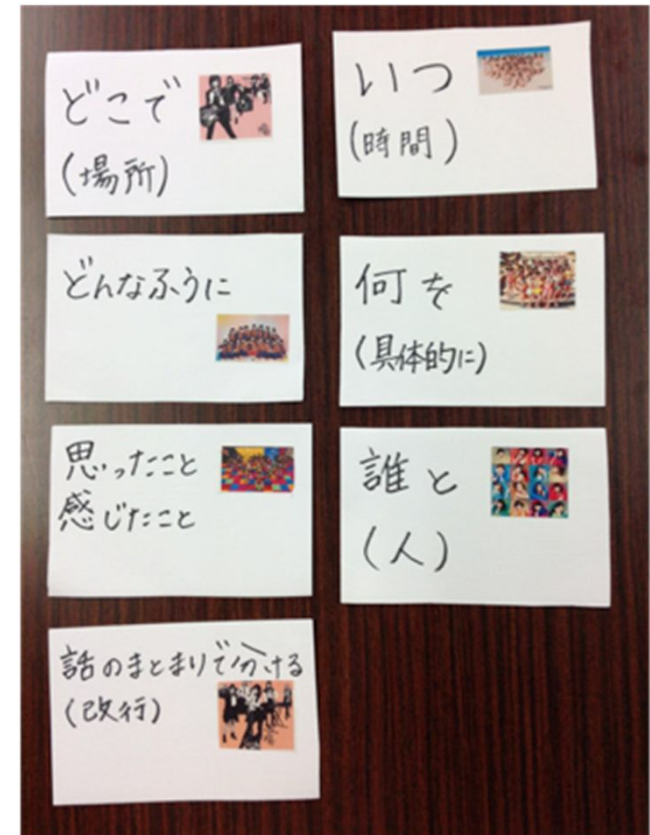
昨日はAKBの番組で「マジスカ学園」を家で三つ見ました。とても面白かったです。後は家で寝ていました。後最終回まで見ました。とても満足です。

# 上達カード

○最初に書いた日記に

- どこで
- いつ
- 誰と
- 何を
- どんなふうに
- 思ったこと、感じたこと
- 話のまとまりで分ける (改行)

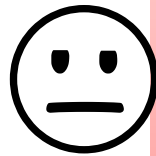
Aくんの好きな  
AKBの写真を  
貼ってモチベー  
ションUP!



の観点で文章を書き足す

## 最初に書いた日記（110文字）

昨日は家でマジスカ学園2を9時間も見ていました。後は母と僕とでビックリドンキーに行きました。僕はチーズフォンデュ風バーグディッシュといちごミルクをたのみました。とても美味しかったです。家に帰ってからはクローズを見ました。|



その日にやったことを書いているだけの内容



## ポイントを意識して書き足した日記（277文字）

昨日は家のリビングでリラックスしながらマジスカ学園2の1～4巻を1人で9時間も満足しながら見ていました。

後は母と僕とで19:00に桜ヶ丘のビックリドンキーに行きました。僕と母はチーズフォンデュ風バーグディッシュといちごミルクをたのみました。僕たち二人の定番です。台風の心配をしながら食べていました。とても美味しかったです。母はハンバーグを食べられなかったので僕は母のハンバーグを代わりに食べました。満腹です。20:00に家に帰って母と二人でクローズを見ました。

マジスカ学園と同じように見ました。でも僕はAKBのファンにします。

上達カードの  
ポイントを  
押さえている

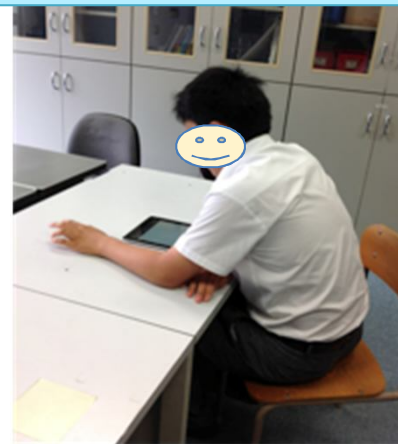


# その日の感想

ピアティーチャー学習の記録

日付・時間	9月11日	金曜日	8時
先生の名前	西島先生		
授業の内容	97トット056		
ポイント	いつ どこで 誰と 何を どんなふうに		
感想	このポイントを使うと、みんながわかるようになる。文を増やすとたくさんいろいろなバージョンがわかりやすく伝えることができます。		

上達カードを使うとよりわかりやすくなる。文を増やすとたくさんいろいろなバージョンがわかりやすく伝えることができます。

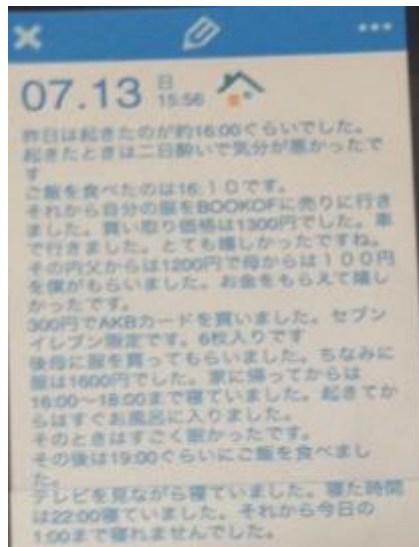




# ③仕上げる

- 日記の内容に沿った写真をネット検索
- 家で見たAKBの動画やTVの写真、行ったお店や食べた料理など、自分で一番ふさわしいと思う写真を添付
- スクリーンショットでデータ保存
- プリンター印刷でファイリング

過去の記事と比較し文章量が増えたことを喜んでいる



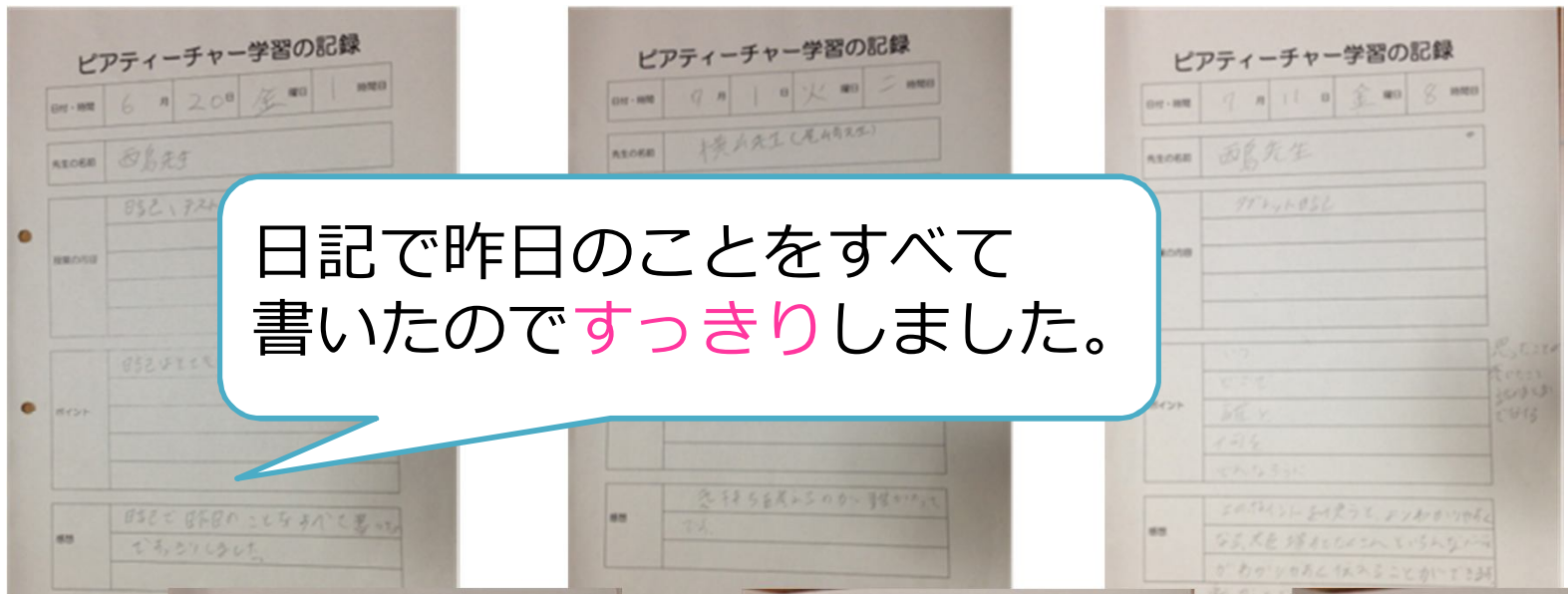
# ④ふりかえりシート

ピアティーチャー学習の記録				
日付・時間	月	日	曜日	時間目
先生の名前				
授業の内容				
ポイント				
感想				

最後に活動内容を  
振り返る

ポイントをまとめる  
ことで「自分の力」  
として定着させる

毎時間ファイリング  
して蓄積する



日記で昨日のことをすべて書いたのですっきりしました。

気持ちを考えるのが難しかったです。

とても面白かった。自分で文を作って**前回よりも成長する**ところです。

**「書けるようになった自分」に自信をもてた**

# 実施者・Aくん・ 母親の感想



# ピアティーチャー

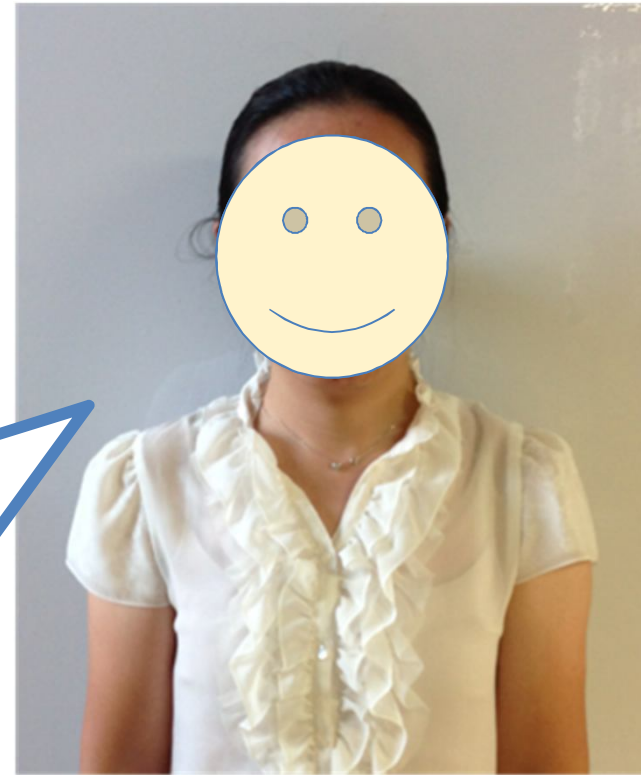


文章を手書きで写す時は、漢字の写し誤りや、文字の一画一画が離れてしまうなどの気になる点がありました。家でiPodを使っていることもありiPadではスムーズに入力できています。

iPadが書字の困難さを軽減している

# 担任

Aくんがこんなに**文章を書けるようになる**とは思いませんでした。自分に合った学びができてイキイキしています。



通常の学級では見られなかった  
Aくんの学びの姿がある

# Aくん



iPadだと文字入力は  
**予測機能**があるから便利。  
これまで**作文は苦手**だっ  
たけど**いつの間にか得意**  
になってたからびっくり  
しました。

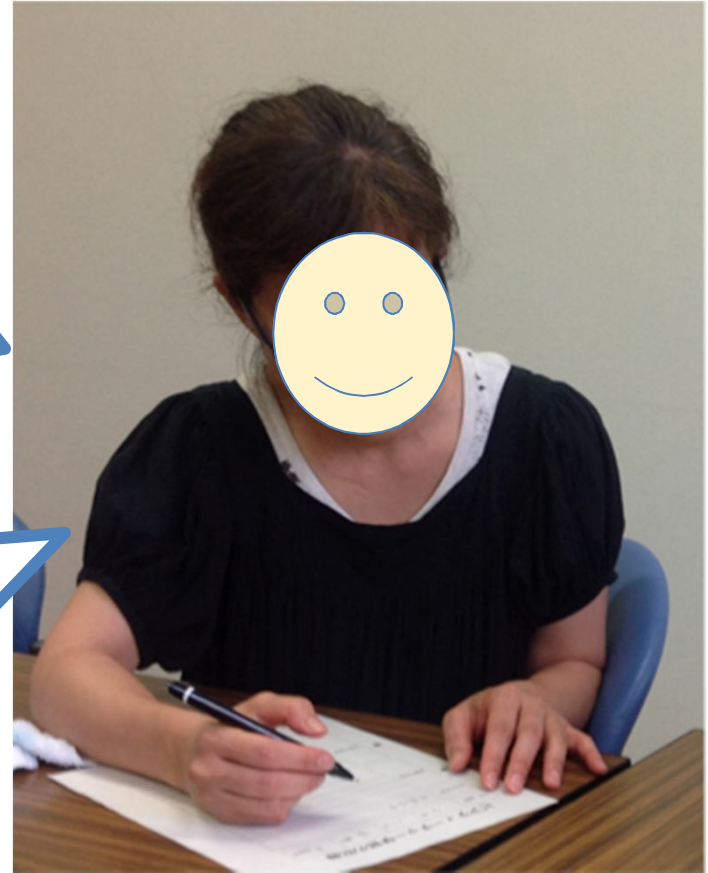
「書ける」自分を認識できている



# Aくんの母親

小中と**作文が苦手で大嫌い**でした。白紙のまま作文用紙を持ち帰るので家で私が質問をして本人が答え**会話**をしながら文を作っていました。

作文用紙は言葉を付け足すのに書いたものを消さなきゃいけないけどiPadだと**消さずに付け加えられる**のがいいですね。



これまでの「手書きの作文」との違いがある

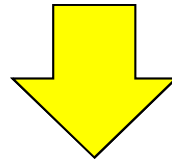


# 考察



# 1 学期の実践の考察

- 学習の難しさ
- 自分の思いを表出することの苦手さ

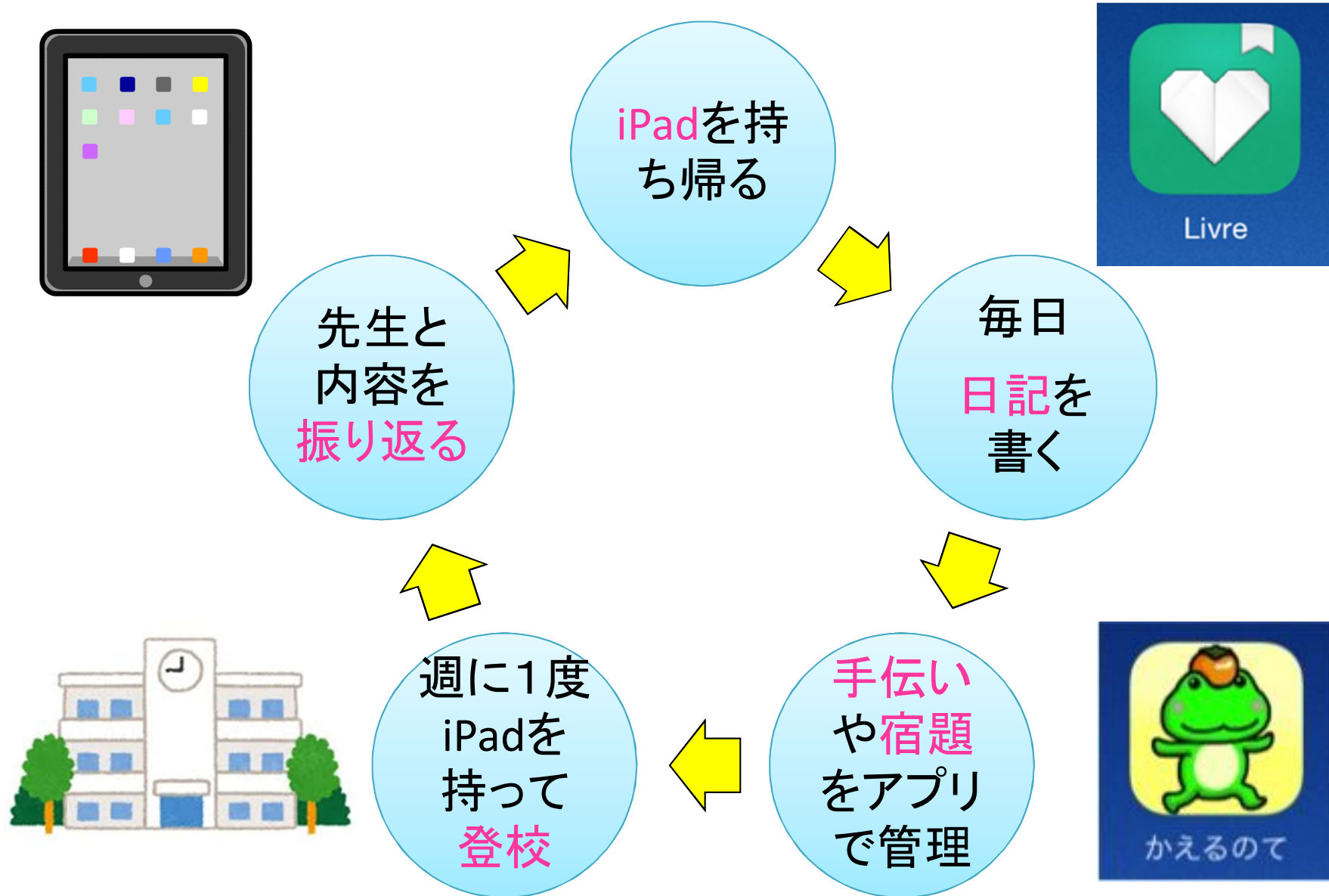


- 以前より書ける自分に**自信**をもつことができた
- 苦手を補い学習の手立てを得ることで  
「**頑張れる自分**」を再発見できた
- 実践を通して**登校意欲を刺激**できた

# 今後の見通し



# 夏休みの計画



# 「かえるのて」アプリ



Aくんと一緒に考えた「おしごと」

リストには夏休みの宿題や漢字アプリを使った学習も

自己管理への意識付けと家庭での役割を果たす事で「頑張れる自分」を発見してほしい

# 2学期の目標

自分の思いを整理することから、自分の思いを伝えていこうという方向に広げていく

書ける自分に自信をもち「頑張れる自分」の力を伸ばしていく

ご清聴  
ありがとうございました

